

2019年度本決算説明（総括）

2020年2月13日

株式会社 クラレ

2019年度実績

	当期実績	前年同期実績	増減
売上高	5,758億円	6,030億円	▲272億円(▲4.5%)
営業利益	542億円	658億円	▲116億円(▲17.7%)
経常利益	483億円	612億円	▲129億円(▲21.1%)
親会社株主に帰属 する当期純利益	▲20億円	336億円	▲355億円 (-%)

参考

円/ドル	109	110
円/ユーロ	122	130
国産ナフサ価格 (千円/kl)	43	51

株主に帰属する当期純利益 増減分析

2018年度実績

336億円

営業利益	▲ 116
米国訴訟関連損失	▲ 506
米国訴訟関連受取保険金	+ 104
その他損益	+ 47
法人税	+ 116

▲ 355億円

2019年度実績

▲ 20億円

原料及び為替

	18年度実績	19年度実績
国産ナフサ/kl	51千円	43千円
ドル (平均)	110円	109円
ユーロ (平均)	130円	122円

2019年度の主要施策実績

競争優位の 追求

- ◆ 光学用ポバールフィルム、倉敷事業所で広幅ラインの増強完了
- ◆ 水溶性ポバールフィルム
 - 米国既存工場の新生産ライン稼働開始
 - 2020年上期、米国新工場が稼働予定
- ◆ アイオノマーガラス中間膜〈セントリグラス〉、チェコ工場で生産開始
- ◆ メルトブローン不織布、クラフレックス岡山工場で生産能力増強を決定
- ◆ IoT活用による生産効率、および品質向上に向けた取り組みの推進

新たな事業 領域の拡大

- ◆ 銅張積層板〈ベクスターFCCL〉、鹿島事業所に量産試験設備を導入
- ◆ バイオマス由来のバリア材〈プランティック〉の拡大
 - 経済産業省および環境省主催の「G20イノベーション展」に出展
- ◆ コーポレートマーケティンググループ、新用途開拓に向けた組織横断的
活動の推進

グループ 総合力強化

- ◆ カルゴン・カーボン事業の統合シナジーを推進
- ◆ 働き方改革の推進
 - ・ ノー残業ウィーク制度の本格導入
 - ・ 在宅勤務・フレックス勤務の導入

2020年度通期業績予想

	2020年度予想	2019年度実績	増減
売上高	5,900億円	5,758億円	142億円
営業利益	600億円	542億円	58億円
経常利益	560億円	483億円	77億円
親会社株主に帰属 する当期純利益	350億円	▲20億円	370億円

国産ナフサ／kl

43千円

43千円

ドル（平均）

105円

109円

ユーロ（平均）

120円

122円

2020年度重点課題

競争優位の 追求

- ◆水溶性ポバールフィルム、ポーランドでの新工場建設決定
- ◆〈エバール〉、新工場設立
- ◆カルゴン・カーボン、米国新ライン増設
- ◆イソプレンケミカル、タイププロジェクトの着実な推進
- ◆生産効率、および品質向上に向けたデジタル化の推進

新たな事業 領域の拡大

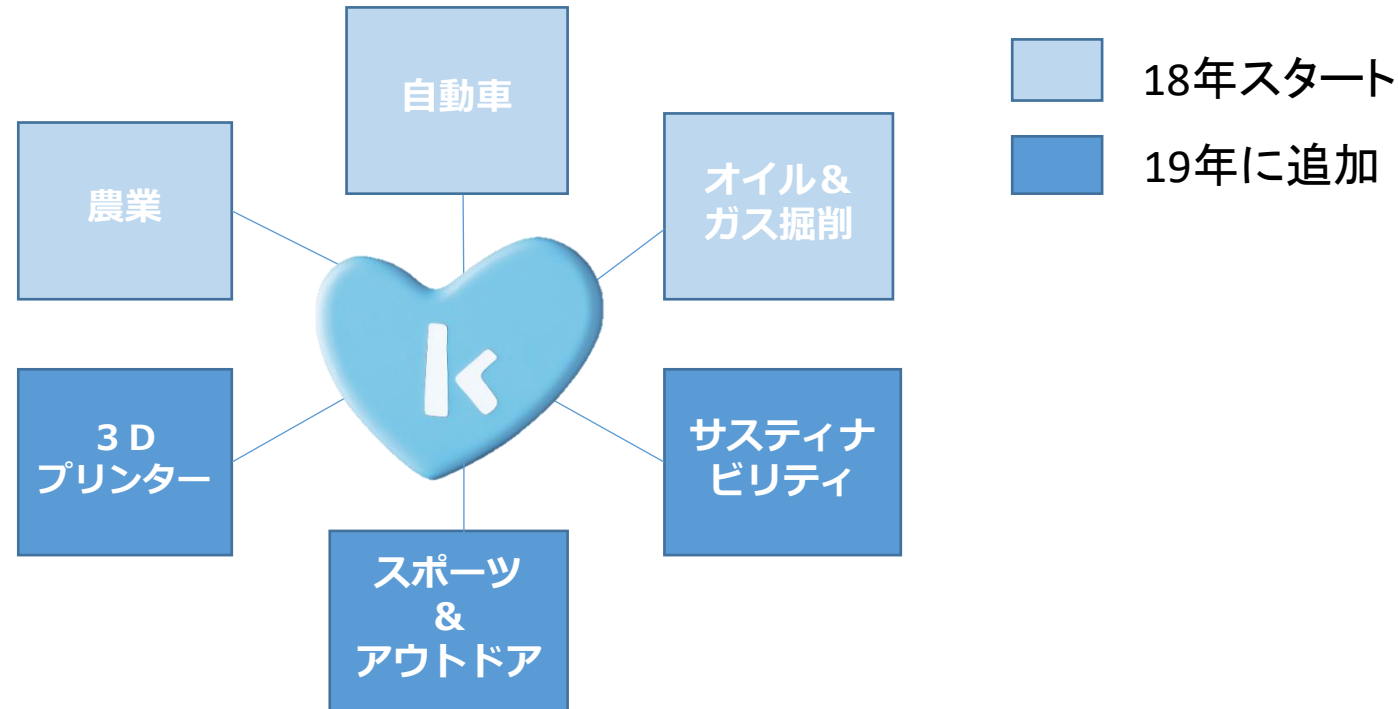
- ◆液晶ポリマーフィルム〈ベクスター〉
5G普及を見据えた販売の加速と量産設備導入検討
- ◆バイオマス由来のバリア材〈プランティック〉
米国での樹脂生産・供給の開始

グループ 総合力強化

- ◆カルゴン・カーボン事業の統合による、更なるシナジー効果の発現
- ◆人材育成の強化と技術継承を目的とした「新研修所」設立の準備
- ◆働き方改革の推進

顧客視点ビジネス創出・文化の醸成

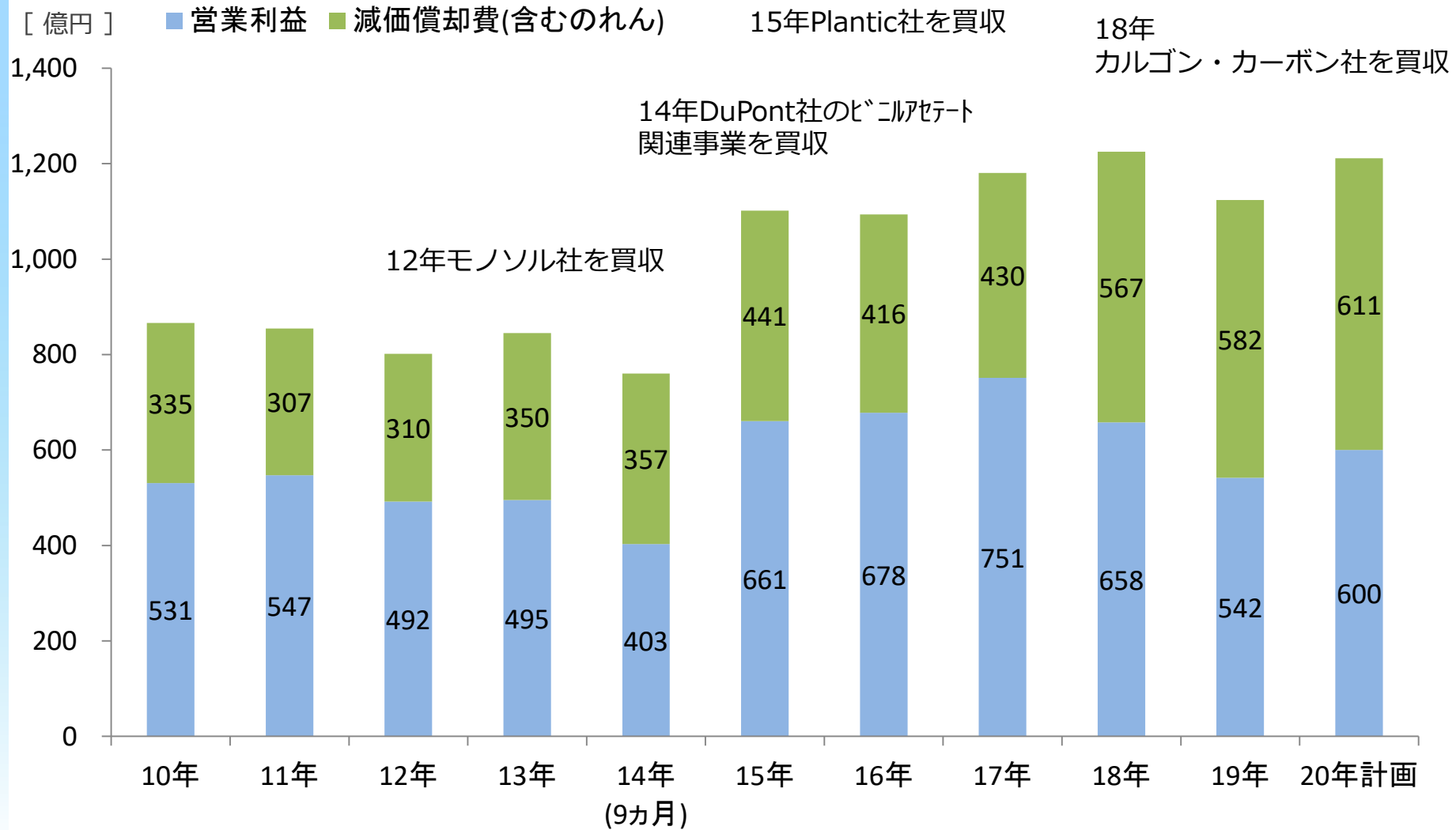
1、事業部横断の横串活動（6つの主要テーマ）



- ・ポテンシャル顧客への総合プレゼン、マッチングの実施（19年：100回以上）
- ・コーポレートマーケティング主催の展示会（19年：5回）

- 2、グローバルのブランド強化プロジェクトの推進
- 3、ビジネス創出人材の育成制度『クラレプライド』の推進
- 4、全社共有のグローバルCRMシステム基盤の構築

EBITDAの推移



中期経営計画『PROUD 2020』 総還元性向35%以上、1株当たり配当40円以上

**19年度：42円/株予定
(中間：20円、期末：22円)**

- 自己株式取得の実績
 - ・2019年度（2019年2月14日～9月20日）
 - 取得株式総数：500万株 株式取得総額：6,613,929,553円

**20年度：42円/株予定
(中間：21円、期末：21円)**

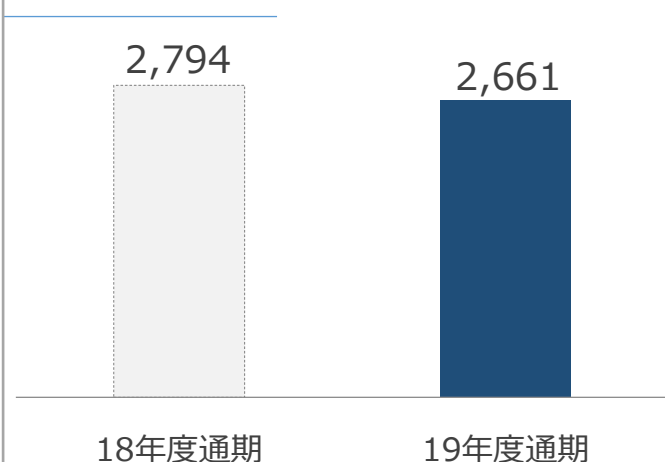
2019年度本決算説明

2020年2月13日

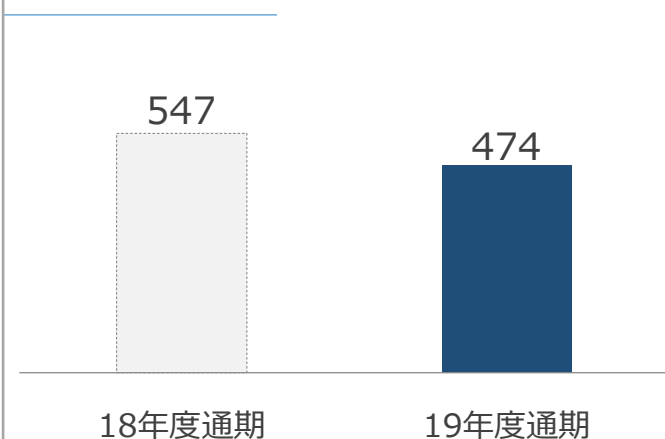
株式会社 クラレ

ビニルアセテートセグメントの概要

売上高（億円）



営業利益（億円）



■ ポバール樹脂

景気減速により販売量が減少。

■ 光学用ポバールフィルム

液晶パネルの在庫調整の影響を受け、出荷が減少。
倉敷事業所の設備増強工事は第4四半期に完了。

■ 水溶性ポバールフィルム

個包装洗剤用途の販売が拡大。

■ PVBフィルム

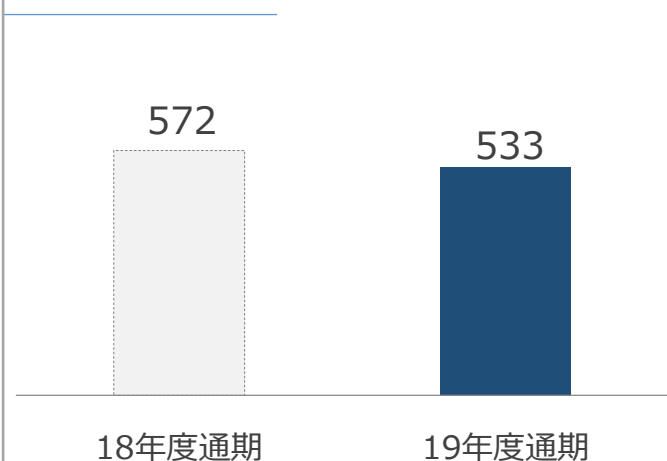
自動車用途は苦戦も、建築用途でアイオノマーガラス中間膜〈セントリガラス〉の需要が伸長。

■ <エバール>

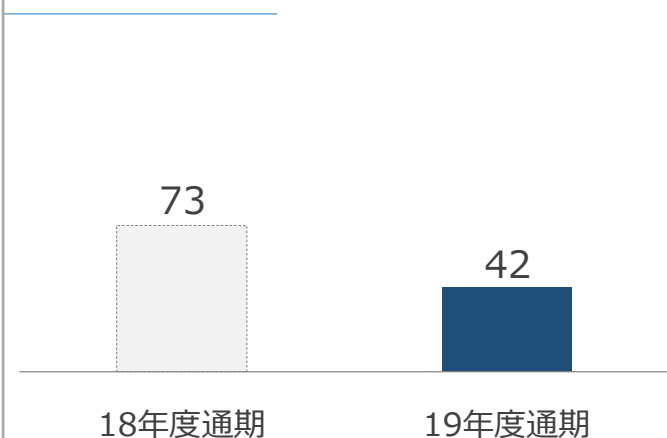
ガソリントank用途は自動車生産台数減少の影響を受け、
食品包材用途は第3四半期以降、徐々に販売回復も
年度では数量が減少。

イソプレンセグメントの概要

売上高（億円）



営業利益（億円）



■ イソプレン

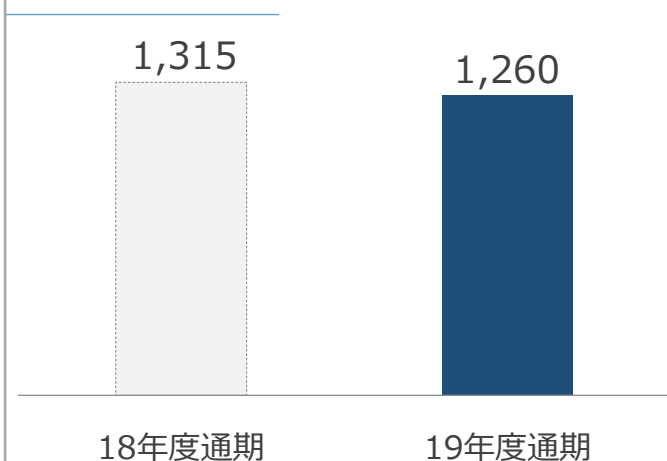
熱可塑性エラストマー<セプトン>で景気減速の影響を受け、販売量が減少。

■ <ジェネスタ>

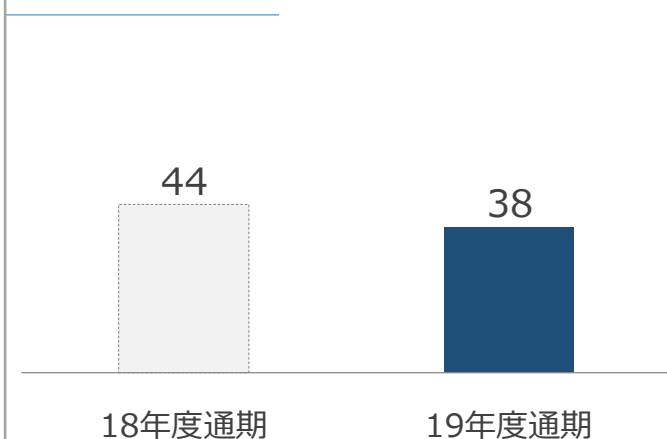
車載用コネクタ向けの新規採用が進むも、電気・電子デバイス向けは需要が停滞。

機能材料セグメントの概要

売上高（億円）



営業利益（億円）



■メタクリル

樹脂の販売の減少に加え、市況悪化の影響を受けた。

■メディカル

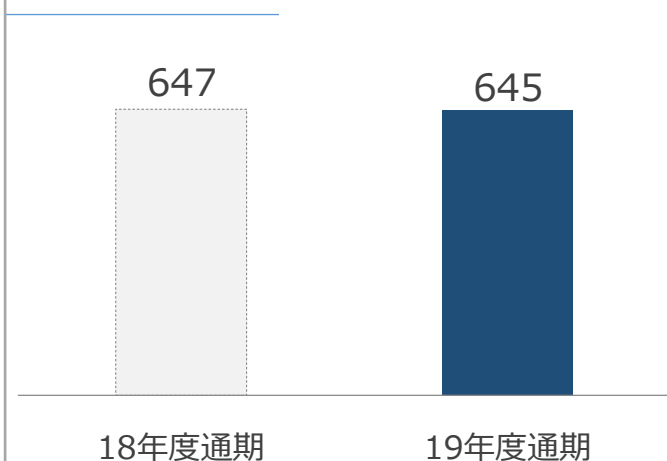
歯科材料の審美修復関連製品を中心に堅調に推移。

■炭素材料、カルゴン・カーボン

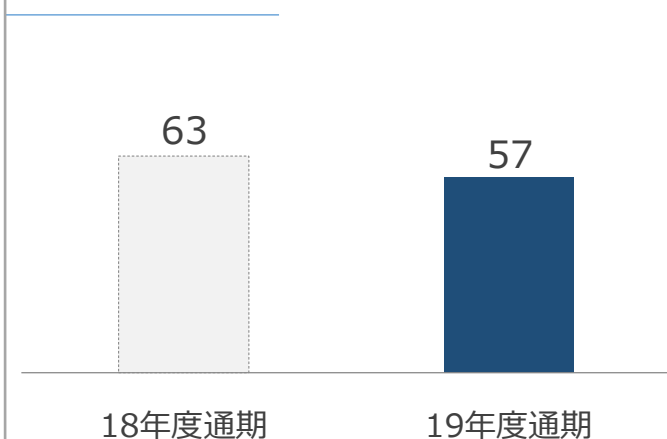
欧州は需要停滞に伴い伸び悩むも、北米での需要は底堅く推移。炭素材料事業は、高付加価値品の販売が拡大。

繊維セグメントの概要

売上高（億円）



営業利益（億円）



■ <クラリーノ>

ラグジュアリー商品用途が引き続き堅調に推移も、靴用途で苦戦。

■ 繊維資材

ビロンでセメント補強用が低調に推移、ゴム資材向けも自動車生産台数減少の影響を受けた。<ベクトラン>は輸出を中心に拡大。

■ 生活資材

<クラフレックス>で汎用品の数量が減少するも、高付加価値品は需要の伸びに合わせ堅調。

セグメント別売上高・営業利益

[億円]

	2019年度		2018年度		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ビニルアセテート	2,661	474	2,794	547	▲133	▲74
イソフレン	533	42	572	73	▲39	▲30
機能材料	1,260	38	1,315	44	▲56	▲6
繊維	645	57	647	63	▲2	▲6
トレーディング	1,309	42	1,388	42	▲79	0
その他	511	6	580	12	▲69	▲5
調整額	▲1,161	▲118	▲1,267	▲123	106	5
合計	5,758	542	6,030	658	▲272	▲116

2019年度キャッシュフロー

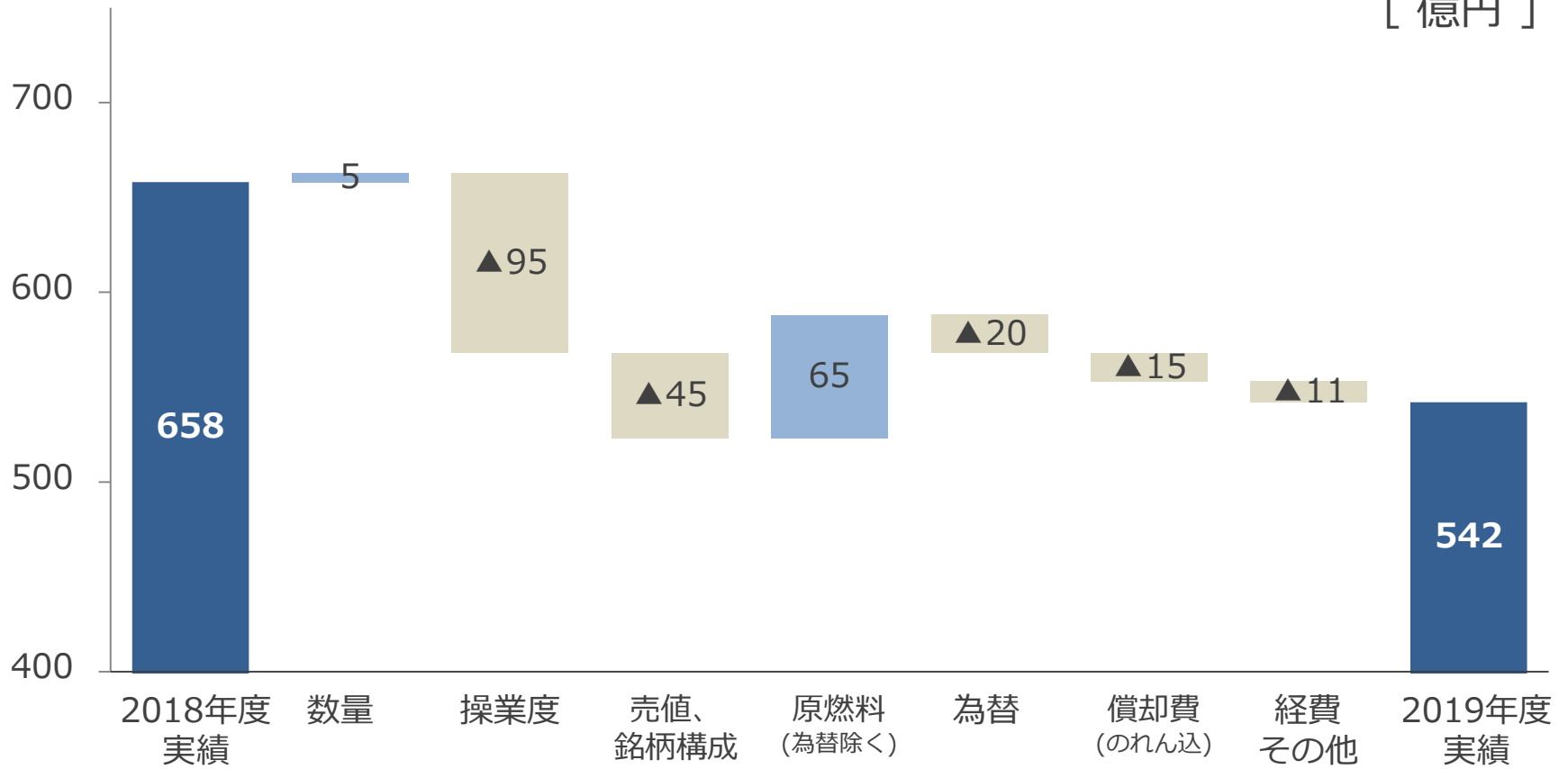
[億円]

	2019年度	2018年度	増減
営業CF	956	752	204
投資CF*	▲886	▲676	▲210
フリーCF*	70	76	▲6
M&A	0	▲1,198	1,198
1株当たり当期純利益	▲5円66銭	96円05銭	▲101円71銭
1株当たり純資産	1,527円79銭	1,592円96銭	▲65円17銭
設備投資 _(決定ベース)	514	1,460	▲946
設備投資 _(受入ベース)	974	668	306
減価償却費	582	567	15
研究開発費	212	212	0

*投資CF、フリーCF：運用資金、M&A関連を除く

営業利益増減分析①

[億円]



	18年度実績	19年度実績
国産ナフサ/kl	51千円	43千円
ドル (平均)	110円	109円
ユーロ (平均)	130円	122円

貸借対照表①(資産の部)

[億円]

	19年12月末	18年12月末	増減
流動資産	3,947	3,949	▲2
固定資産	5,964	5,522	442
資産合計	9,911	9,471	441

<参考> 期末日為替レート

	19.12末	18.12末
円/ドル	110	111
円/ユーロ	123	127

(注) 当期より、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」を適用しており、前期は遡及処理の内容を反映させた数値を記載しております。

貸借対照表②(負債の部)

[億円]

	19年12月末	18年12月末	増減
流動負債	2,017	1,448	569
固定負債	2,509	2,353	157
負債合計	4,526	3,801	725
純資産合計	5,385	5,670	▲285
負債・純資産合計	9,911	9,471	441
自己資本比率	53.0%	58.6%	▲5.7%

<参考> 期末日為替レート

	19.12末	18.12末
円/ドル	110	111
円/ユーロ	123	127

(注) 当期より、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」を適用しており、前期は遡及処理の内容を反映させた数値を記載しております。

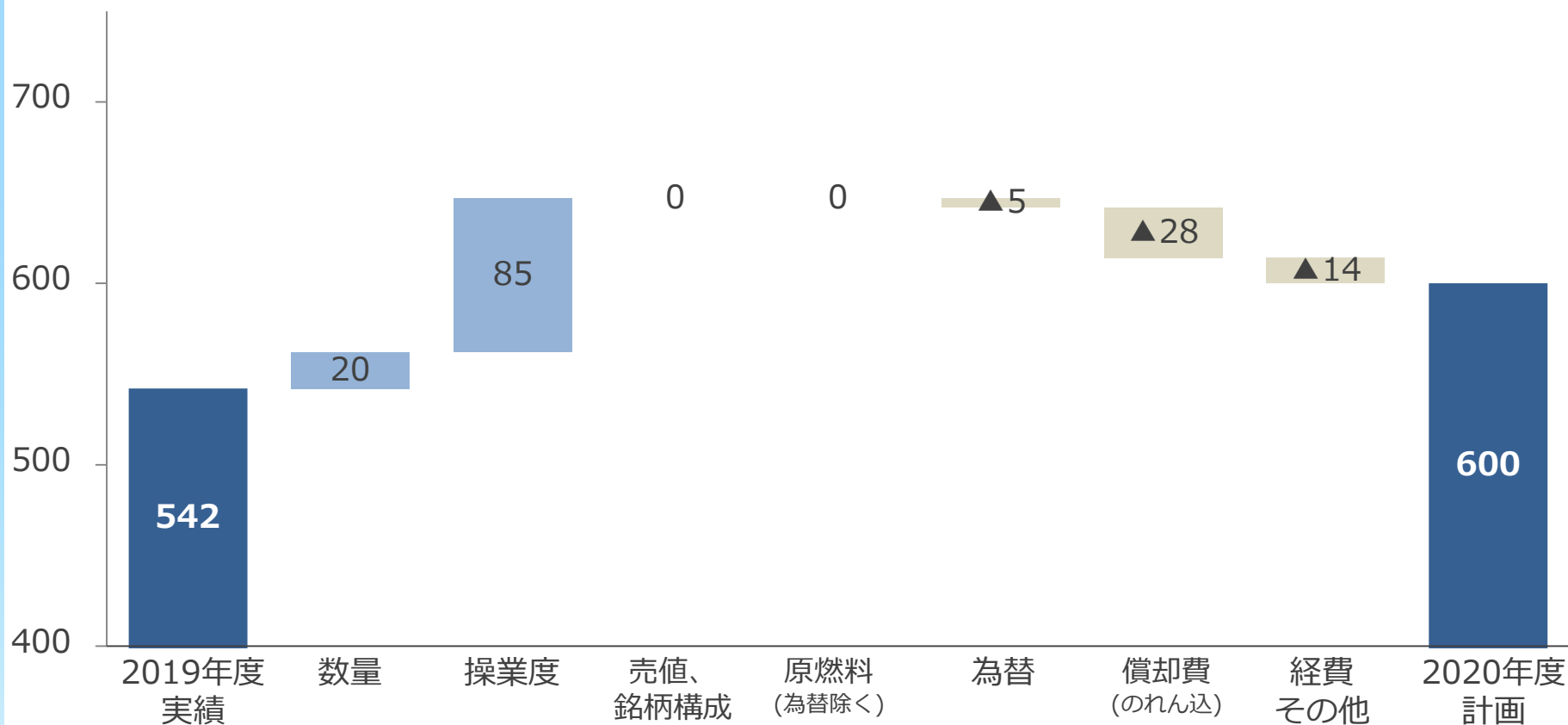
2020年度業績予想

[億円]

	2020年度 通期予想	2019年度 通期実績	増減
売上高	5,900	5,758	142
営業利益	600	542	58
経常利益	560	483	77
当期純利益	350	▲20	370
1株当たり当期純利益	101円82銭	▲5円66銭	107円48銭
1株当たり配当	42円	42円	0円
設備投資(決定ベース)	950	514	436
設備投資(受入ベース)	1,000	974	26
減価償却費(のれん償却費込)	611	582	29
研究開発費	220	212	8

営業利益増減分析②

[億円]



	19年度実績	20年度前提
国産ナフサ/kl	43千円	43千円
ドル (平均)	109円	105円
ユーロ (平均)	122円	120円

【ご参考】 2020年度業績予想

[億円]

	20年度予想		19年度実績		増減	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期
売上高	2,900	3,000	2,874	2,884	26	116
営業利益	280	320	279	263	1	57
経常利益	260	300	247	236	13	64
当期純利益*	160	190	133	▲152	27	342

*親会社株主に帰属する当期純利益

セグメント別売上高・営業利益

[億円]

	2020年度 通期予想		2019年度 通期実績		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ビニルアセテート	2,780	505	2,661	474	119	31
イソブレン	550	50	533	42	17	8
機能材料	1,310	50	1,260	38	50	12
繊維	670	60	645	57	25	3
トレーディング	1,350	45	1,309	42	41	3
その他	510	10	511	6	▲1	4
調整額	▲1,270	▲120	▲1,161	▲118	▲109	▲2
合計	5,900	600	5,758	542	142	58

【ご参考】 2020年度セグメント別予想

[億円]

	売上高			営業利益		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
ビニルアセテート	1,380	1,400	2,780	245	260	505
イソブレン	270	280	550	20	30	50
機能材料	640	670	1,310	20	30	50
繊維	330	340	670	30	30	60
トレーディング	650	700	1,350	22	23	45
その他	250	260	510	3	7	10
調整額	▲620	▲650	▲1,270	▲60	▲60	▲120
合計	2,900	3,000	5,900	280	320	600

【ご参考】セグメント別売上高

[億円]

	2020年度 通期予想		2019年度 通期実績		増減	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期
ビニルアセテート	1,380	1,400	1,347	1,314	33	86
イソプレン	270	280	274	259	▲4	21
機能材料	640	670	626	634	14	36
繊維	330	340	331	314	▲1	26
トレーディング	650	700	648	661	2	39
その他	250	260	260	251	▲10	9
調整額	▲620	▲650	▲612	▲549	▲8	▲101
合計	2,900	3,000	2,874	2,884	26	116

【ご参考】セグメント別営業利益

[億円]

	2020年度 通期予想		2019年度 通期実績		増減	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期
ビニルアセテート	245	260	231	243	14	17
イソプレン	20	30	34	8	▲14	22
機能材料	20	30	22	16	▲2	14
繊維	30	30	30	27	0	3
トレーディング	22	23	21	21	1	2
その他	3	7	4	2	▲1	5
調整額	▲60	▲60	▲62	▲56	2	▲4
合計	280	320	279	263	1	57

未来に化ける新素材。

kuraray

金額表示は億円未満四捨五入にしております。

本資料中の業績予想、見通し及び事業計画についての記載は、将来の事業環境・経済状況等に関する現時点での仮定・推測に基づいています。実際の業績は、これと異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

公正取引委員会からの 排除措置命令に関して

2020年2月13日

株式会社 クラレ

公正取引委員会の決定までの経緯

繊維製品(ビニロン)

防衛装備庁が発注する繊維製品の競争入札

リエンシー申請

2016年3月 立ち入り検査

2017年3月 排除措置命令
リエンシー申請により課徴金免除

2017年4月 役員報酬自主返上

活性炭

浄水処理施設、ごみ焼却施設等で使用される活性炭の製造販売

2017年1月
クラレケミカル(株)を吸収合併

2017年2月 立ち入り検査

リエンシー申請

2018年3月
カルゴン・カーボン社買収

2019年11月 クラレ、CCJ※
排除措置命令、課徴金納付命令
課徴金額：約0.7億円 (30%減額)

2019年12月 役員報酬自主返上

2016年

2017年

2018年

2019年

再発防止に向けた取り組み

2016年 トップメッセージの発信（社内Web、社内報など）

開始時期	分類	実施項目	頻度・対象・内容
2016年	6月	規則改訂・体制強化	独占禁止法遵守指針の改訂 多数の具体的事件例の列挙などカルテル・談合に関する記載の充実
	7月	社内教育	独禁法セミナー開催 定期開催 外部弁護士を講師に迎えたセミナー
	7月～9月	社内調査	独禁法遵守状況を社内聴取 各事業部・関係会社を対象に実施

2017年	5月	規則改訂・体制強化	競合会社とのミーティングガイドライン制定 競合会社との接触に関する規定の厳格化
	5月	規則改訂・体制強化	独禁コンプライアンスシステム運用開始 競合会社との取引、会合の事前審査、入札情報の管理
	7月～8月	社内教育	販売部従業員向け研修 定期開催 具体的な事案に基づいた研修
	8月～10月	社内調査	独禁法遵守に関する社内リニエンシー 各事業部・関係会社を対象に実施
2018年	4月～6月	社内調査	入札参加部署を対象にした法務部監査 1回/年 案件の内容、入札価格の計算根拠、商流等について監査
2019年	6月	社内調査	入札参加部署を対象にした法務部監査 1回/年 案件の内容、入札価格の計算根拠、商流等について監査
	12月	社内調査	対象範囲を広げた法務部監査、社内聴取 入札参加海外グループ会社や国内関係会社への監査・社内聴取に着手

2020年予定の施策：

- ・一定期間同一職務に従事する管理職のローテーション制度範囲の拡大（規則改訂・体制強化）
- ・独占禁止法遵守指針の改訂（規則改訂・体制強化）
- ・法務部による各事業・関連会社への社内聴取の継続実施（社内調査）
- ・外部弁護士による役員向け、及び販売部従業員向けセミナーの継続実施（社内教育）
- ・販売部従業員へのアンケート形式による社内リニエンシーの再実施（社内調査）

米国工場火災に伴う訴訟、 今後の安全対策について

2020年2月13日

株式会社 クラレ

米国子会社で発生した火災事故に関連する経緯

事業影響

2018年 5月 米国エバール工場にて火災発生

事故調査開始

- ・ 2Q：在庫により販売に影響なし

安全設備の改造

- ・ 3Q：米州食品用途で販売調整

9月下旬 主要生産ライン稼働開始

- ・ 4Q：段階的に供給体制が復活

11月末 事故発生ライン稼働開始

生産の完全正常化

<設備復旧および安全対策費用>

- ・ 設備の補修費用 : 僅少 (数百万円)
- ・ 安全対策費用 : 約 3億円
- ・ ココ展開安全設計見直し : 約 0.7億円

訴訟関連

民事訴訟を提起される

原告：160名超の外部委託業者
内容：身体的または精神的傷害に対する
損害賠償等の請求

2019年

10月 一部原告と和解および特別損失の計上

和解：約100億円(92百万米ドル)
和解含む約140億円の損失計上

11月 追加の特別損失の計上

340億円の損失を計上 (140名超)

2020年

1月 一部原告と和解

和解：約289億円(265百万米ドル)
和解交渉継続中

企業ステートメント：「安全はすべての礎」

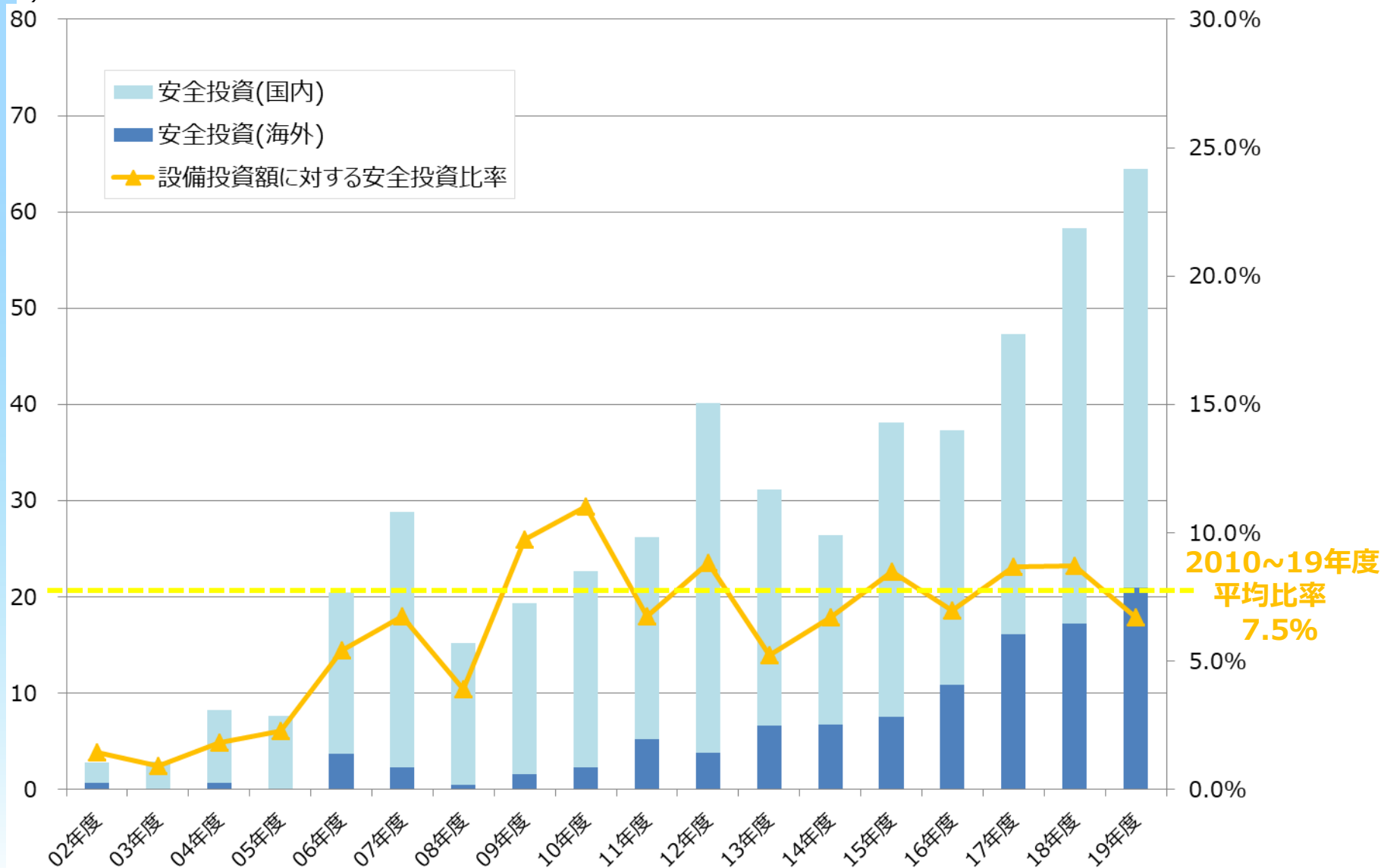
- ✓ 安全に関する行動原則：「安全はすべての礎」
- ✓ 安全に関する行動方針（20年度）：
 1. 「安全第一、生産第二」を徹底すること
 2. 行動前の「危険予知」と行動前後の「確認」を徹底すること
 3. 全ての社員が「安全」に対して積極的に行動すること

2019年度の安全監査によって抽出した改善点

- ① マネジメントシステムの改善
 - ・ 変更管理の具体的手法の見直し、および変更後の確認徹底
 - ・ 具体的事例を示し、特定作業の認可・承認権限を明確化
- ② 教育・訓練の充実
 - ・ プラントの高リスク項目に関する教育を充実
 - ・ 緊急対応マニュアルの見直し、改善および社員への周知徹底
- ③ リスクアセスメントの拡大
 - ・ 立上げ時や停止時等の非定常時における危険源の抽出と対策
 - ・ 文章により標準化されていない作業をゼロに

安全に対する投資

(億円)



未来に化ける新素材。

kuraray

金額表示は億円未満四捨五入にしております。

本資料中の業績予想、見通し及び事業計画についての記載は、将来の事業環境・経済状況等に関する現時点での仮定・推測に基づいています。実際の業績は、これと異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。